

2024年4月15日

「実臨床における超音波内視鏡下組織採取術で採取した検体の 組織検体作成におけるあぶらとり紙の有用性の検討」

1. 研究の対象

2022年4月1日から2023年12月31日に当センター消化器内科で病理診断・検体採取目的に超音波内視鏡下組織採取術（EUS-FNA）を受けた方

2. 研究目的・方法

「目的」採取した検体の組織検体の作成方法の検討

「方法」対象患者さんの診断率、がん遺伝子パネルへの適正率の調査を行う

「研究期間」倫理委員会承認後～2026年3月31日

「利用又は提供を開始する予定日」2024年6月1日～

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：病理組織診断、年齢、性別、身体所見、投薬内容、血液検査結果 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター消化器内科

研究責任者：副部長 山井 琢陽

電話 06-6692-1201